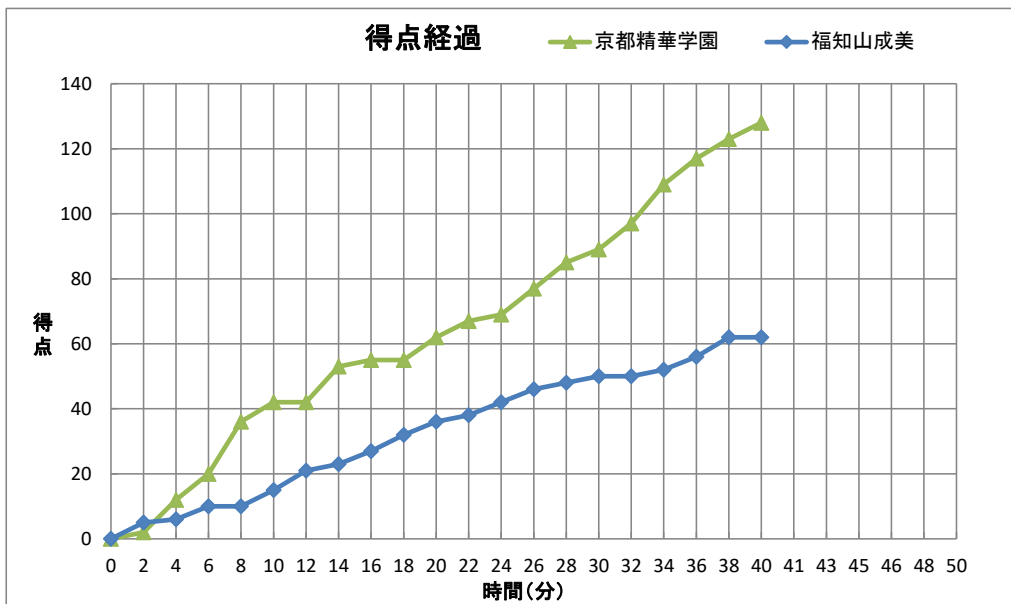




第44回京都府高等学校バスケットボール選手権大会 兼
第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会 京都府予選

個人トータル表

女子		11月3日				10:30 開始															
決勝リーグ		島津アリーナ京都				Aコート															
◎ 京都精華学園 129		<table border="1"> <tr><td>42</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>26</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>40</td><td>4th</td><td>12</td></tr> </table>				42	1st	15	21	2nd	21	26	3rd	14	40	4th	12	62		福知山成美	
42	1st	15																			
21	2nd	21																			
26	3rd	14																			
40	4th	12																			
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則								
* 4	林 咲良	15	1	5	2	1	* 0	サイドット アジョーク	2	0	1	0	2								
* 5	橋本 芽依	16	4	1	2	1	1	ウカ リジョイス	4	0	2	0	3								
* 6	桃井 優	0	0	0	0	0	6	永田 蒼空	0	0	0	0	0								
7	速水 純里	0	0	0	0	0	13	松本 りあ	0	0	0	0	1								
8	山田 優利亜	2	0	1	0	0	15	藤本 彩夢	0	0	0	0	0								
9	金丸 千蓮	0	0	0	0	0	* 22	畑 実来	3	0	1	1	1								
10	田中 鈴音	8	0	4	0	0	24	原澤 花梨	3	1	0	0	0								
11	木村 由衣菜	0	0	0	0	1	25	川本 佳里奈	18	0	9	0	4								
12	谷 彩南	3	1	0	0	0	* 27	前川 紗季	9	1	3	0	1								
13	満生 小珀	3	0	1	1	0	30	中島 未優菜	0	0	0	0	1								
14	金谷 悠加	6	0	2	2	0	37	田上 優依	10	2	2	0	1								
15	ンガルラ ムクナ リヤ	24	0	10	4	0	54	石塚 優希	4	0	2	0	0								
* 16	石渡 セリーナ	13	0	6	1	1	71	向山 空花	0	0	0	0	2								
17	坂口 美果	21	1	9	0	1	* 87	井上 華乃	4	0	2	0	4								
* 18	ユサフ ボラン	18	0	8	2	0	* 91	田中 陽菜乃	5	0	2	1	1								
コーチ	山本 綱義					0	コーチ	伊藤 久					0								
Aコーチ	豊田 薫						Aコーチ	高見 義和													
合計		129	7	47	14	5	合計		62	4	24	2	21								
主審: 加藤 毅 副審: 南 宣匡 副審: 徳本 将思																					



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	5:31	:	:	:	:	:

〔戦評〕
 ウィンターカップ京都府予選 決勝リーグ 第2戦 京都精華学園VS福知山成美

第1Q 京都精華学園マンツーマンディフェンス、福知山成美2-3のゾーンディフェンスでゲームスタート。京都精華学園#4が落ち着いてミドルシュートを決め先制点。対する福知山成美は#27の3Pやカットインからのバンクシュートなど連続5得点でやり返す。京都精華学園は#16のシュートブロックが光り、そのまま速攻へ繋げ得点する。その後も#4、#5、#18が次々にシュートを決め、第1Q京都精華学園42-15福知山成美で終了。

第2Q 開始早々、福知山成美はディフェンスの強度があがり、高い位置でスティールからレイアップに繋げ得点。さらには#22のドライブ、#25ミドルシュート、#30の3Pで加点。対する京都精華学園はハイポストとローポストうまく使い攻撃を仕掛けるが中々得点することができない。福知山成美はディフェンスをマンツーマンに変更しプレッシャーをかけた。前半終了間際、京都精華学園#17が3Pを決め、京都精華学園63-36福知山成美で前半終了。

第3Q 後半両チームマンツーマンディフェンスでゲームスタート。福知山成美は#30のドライブから#1にゴール下で合わせて得点する。すかさず、京都精華学園#5がコーナーの3Pでやり返す。続けて#18がゴール下を制圧し追加点。福知山成美は#25がハイポストからドライブを披露し得点。京都精華学園は#16、#17の見事な連携を見せゴール下のシュートを決める。京都精華学園89-50福知山成美で第3Q終了。

第4Q 京都精華学園#14が巧みなドリブルワークから味方にアシストし、#10、#15、#17が決めきり点差を広げる。少しでも差を縮めたい福知山成美は#25が躍動。難しいシュートや3Pを決めやり返す。しかし、京都精華学園が安定した正確なプレーで圧倒し、京都精華学園128-62福知山成美でゲーム終了。京都精華学園は決勝リーグ2勝目をあげた。